

地球を守る

きれいな地域の自然と
地球の未来をつくり続けるために



森林保全活動「百五の森」

当行は、持続可能な循環型社会をめざし、2006年から「森づくり活動」に取り組んでいます。
そして、三重県内に「百五の森」が4か所誕生しました。

<p>1 津市芸濃町（錫杖湖畔） 面積：0.55ha</p> <p>2006年10月 当行役職員とその家族118名が広葉樹の苗木550本を植樹</p> <p>2016年4月 新入行員98名が広葉樹の苗木30本を植樹</p>	<p>2 津市白山町（青山高原） 面積：0.54ha</p> <p>2008年10月 当行役職員とその家族190名が広葉樹の苗木525本を植樹</p> <p>2014年11月 行員ボランティア20名が広葉樹の苗木120本を植樹</p>
<p>3 津市美杉町（道の駅美杉 隣） 面積：0.55ha</p> <p>2010年11月 当行役職員とその家族171名が広葉樹の苗木550本を植樹</p> <p>2017年5月 新入行員106名が下刈りを行う</p>	<p>4 伊勢市東豊浜町（海岸沿いの人口堤） 面積：0.55ha</p> <p>2013年2月 当行役職員とその家族395名がクロマツの苗木1,140本を植樹</p> <p>2015年3月 行員ボランティア32名がクロマツの苗木200本を植樹</p>

2018年3月撮影

5

創立140周年記念事業 第5回 森づくり活動

当行の創立140周年と全国の地方銀行64行が参加している「日本の森を守る地方銀行有志の会」設立10周年の記念事業として、5月9日に、三重県多気郡多気町丹生の山林で、当行役員、新入行員による森づくり活動を行いました。



日本の森を守る地方銀行有志の会



2008年7月に、当行を含む発起8行によって、森づくりに関する情報やノウハウを共有し、各行の活動に反映させ、森づくり活動のさらなる活性化につなげていくことを目的に発足し、現在では全64行の地方銀行が参加しています。